



2022年10月5日

「卯年兎図記念コイン」予約販売のお知らせ

筑波銀行（頭取：生田 雅彦）は、「卯年兎図記念コイン」の予約販売を、10月11日（火）より開始しますのでお知らせいたします。

このコインは、英国王立造幣局やフランス国立造幣局など世界有数の5つの造幣局が鑄造し、英国、カナダ、フランス、ブータン、オーストラリアの各国から発行されます。近年人気の大型金貨として、英国発行の5オンス金貨が登場するほか、愛らしい2匹の兎を鮮やかなカラーで描いた銀貨など、各国の個性が活かされた金貨と銀貨13種類のラインアップとなっており、下記のとおり予約販売を開始いたします。

記

1. 販売概要

	種類	販売価格	数量
A	500ポンド金貨	3,300,000円	限定 70枚
B	100ポンド金貨	660,000円	限定 500枚
C	100カナダドル金貨	352,000円	限定 400枚
D	50ユーロ金貨	176,000円	限定 500枚
E	1000ニュルタムカラー金貨	176,000円	限定 400枚
F	100豪ドル金貨	616,000円	限定 400枚
G	25豪ドル金貨	176,000円	限定 500枚
H	30豪ドルカラー銀貨	264,000円	限定 300枚
I	銀貨5種セット	82,500円	限定 1,000セット

※いずれも税込価格です。

※各商品はすべて特製ケースと発行証明書を付けてお渡しいたします。

※銀貨5種セットは、単品販売はいたしません（セットでの販売のみです）。

2. 予約販売受付期間

2022年10月11日（火）～ 10月31日（月）

※数量限定のため、受付期間中であっても販売予定数量に達した場合は、販売を締め切らせていただきます。

3. お引渡し予定日

2022年12月6日（火）以降

4. 販売窓口

当行全営業店（つくばのGammaぐち支店（インターネット専門支店）は除きます。）

以上

報道機関のお問合せ先
筑波銀行 総合企画部広報室
TEL 029-859-8111

商品の一覧

A. 500ポンド金貨

3,300,000円(税込)

限定70枚

品位:99.99% 重量:156.300g 直径:50.00mm 状態:プルーフ



B. 100ポンド金貨

660,000円(税込)

限定500枚

品位:99.99% 重量:31.210g 直径:32.69mm 状態:プルーフ



C. 100カナダドル金貨

352,000円(税込)

限定400枚

品位:99.99% 重量:15.430g 直径:29.00mm 状態:プルーフ



D. 50ユーロ金貨

176,000円(税込)

限定500枚

品位:99.90% 重量:7.780g 直径22.00mm 状態:プルーフ



E. 1000ニュルタムカラー金貨

176,000円(税込)

限定400枚

品位:99.99% 重量:7.776g 直径:21.96mm 状態:プルーフ



YEAR OF THE RABBIT 2023

F.100豪ドル金貨

616,000円(税込)

限定400枚

品位:99.99% 重量31.107g 直径:32.60mm 状態:プルーフ



G.25豪ドル金貨

176,000円(税込)

限定500枚

品位:99.99% 重量:7.777g 直径:20.60mm 状態:プルーフ



H.30豪ドルカラー銀貨

264,000円(税込)

限定300枚

品位:99.99% 重量:1000.100g 直径:100.90mm 状態:未使用



I.銀貨5種セット

82,500円(税込)

限定1,000セット

①2ポンド銀貨 ②15カナダドル銀貨 ③10ユーロ銀貨
④500ニュルタムカラー銀貨 ⑤1豪ドルカラー銀貨



デザインと解説

500ポンド金貨

※100ポンド金貨も同様

(英国)



表面

故・女王エリザベス2世の肖像が描かれています。2015年から採用された5番目のデザインは、アーティストのジョディ・クラーク氏によるもので、穏やかな微笑をたたえた表情が特徴的です。額面のほか英国君主の称号である「D.G.REG.F.D」が刻まれています。



裏面

1100年以上の歴史を有する英国王立造幣局によるクラフトマンシップと東洋の文化が融合。真っ直ぐに正面を見つめ、跳躍を前に耳を澄ましているような兎の姿が、繊細な刻印技術でリアルに表現されています。漢字の「兔」と英語で「YEAR OF THE RABBIT」と刻まれています。

100カナダドル金貨

(カナダ)



表面

スザンナ・ブラント氏デザインによる、故・女王エリザベス2世の気品溢れる肖像が描かれています。周囲には、ラテン語で「神の恩寵による女王」を意味する「D.G.REGINA」、額面などが刻まれています。



裏面

月に白い兎が住むという中国の「玉兎(ぎょくと)伝説」に着想を得て、アーティストのアーリース・チェン氏がデザイン。兎には健康や繁栄を象徴する波模様や翼などが描かれ、背景には月の女神「嫦娥(じょうが)」の住む月宮、桂の葉などのモチーフが描かれています。

50ユーロ金貨

(フランス)



表面

兎が輪の中からちょこんと前足と顔を出している可愛らしい構図。輪の中には十二支の動物や植物のモチーフが極めて緻密な彫刻で描かれ、フランス国立造幣局ならではの高い芸術性で表現されています。兎の隣には漢字の「兔」、周囲にはフランス語で「ANNÉE DU LAPIN」(卯年)と刻まれています。



裏面

中国の伝統的な寺院の扉が右上に円形で描かれ、それを扇状に取り囲むように十二支の動物たちが精緻な彫刻技術でランダムかつ重層的に描かれています。周りには年号(2018年~2029年)や、フランス語で「CALENDRIER CHINOIS」(中国暦)と刻まれています。

デザインと解説

1000ニュルタムカラー金貨

(ブータン)



表面

活発に跳ね回る兎の姿と、ヒマラヤ山脈に囲まれたブータンの大自然の樹林や葡萄の葉、雲などのモチーフをグラフィカルに表現。周りには英語で「YEAR OF THE RABBIT」、額面などが刻まれています。



裏面

ブータンの神話で「女神の山」として知られる、ヒマラヤ山脈の「ジモラリ山」の風景がカラーで描かれ、ブータンの神秘的な魅力が表現されています。周囲には発行国や発行年が刻まれています。

100豪ドル金貨

※25豪ドル金貨も同様
(オーストラリア)



表面

故・女王エリザベス2世の肖像が描かれています。2019年から採用された6番目のデザインは、アーティストのジョディ・クラーク氏によるもので、穏やかな微笑をたたえた表情が特徴的です。コインの重量や純度、額面なども刻まれています。



裏面

麦の中を元気に跳ね回る躍動的な兎の姿を描いたシンプルかつ大胆なデザイン。毛並みなども巧みな彫刻技術でリアルに表現されています。大きく描かれた漢字の「兔」や「RABBIT 2023」、パース造幣局で製造されたことを示すミントマーク「P」も刻印されています。

30豪ドルカラー銀貨

2匹の愛らしい兎が鮮やかなカラーで描かれています。背伸びをして木の実を食べようとしている姿と、周囲を見渡すように耳を澄まして佇んでいる姿が、緻密な彩色技術でリアルに表現されています。パース造幣局のシンボル「P」も刻印されています。直径約100mm、重さ約1kg、厚さ14.5mmの圧倒的な存在感とともに、お楽しみいただけます。

※表面は上記金貨と同じデザイン



裏面

銀貨5種セット デザインと解説

※コインの反対面は金貨と共通のデザイン

2ポンド銀貨

(英国)



裏面

※金貨の説明をご参照ください

15カナダドル銀貨

(カナダ)



表面

月に白い兎が住むという中国の「玉兎(ぎょくと)伝説」に着想を得て、アーティストのリー・カオ氏がデザイン。三日月の上を兎が飛び跳ねている様子が、フォークアート調の可愛らしいタッチで描かれています。

10ユーロ銀貨

(フランス)



表面

※金貨の説明をご参照ください

500ニュルタムカラー銀貨

(ブータン)



表面

※金貨の説明をご参照ください

1豪ドルカラー銀貨

(オーストラリア)



裏面

※30豪ドルカラー銀貨の説明をご参照ください

(参考)

干支記念コインシリーズについて

日本人に馴染み深い「干支」をテーマに2010年の「卯年」から毎年発行されている人気シリーズです。初年度はオーストラリア1カ国が発行する4種類でしたが、近年では5カ国発行の13種類にラインアップが増加。全国の地方銀行・第二地方銀行の約半数で扱われています。また5オンス金貨をはじめとする希少価値の高い大型サイズのコレクションも近年人気を集めています。



2010年発行の卯年コイン

造幣局について

■英国王立造幣局(ロイヤル・ミント)

英国王立造幣局(The Royal Mint)は、ロンドンに複数あった小さな貨幣工場の一つとして886年に設立。その後1279年にロンドン塔内に造幣局として集約され、以後500年ここを拠点として英国の硬貨鑄造を一手に担うまでになります。この間、造幣局長官をつとめたアイザック・ニュートンらの貢献によって偽造防止のための精密かつ高硬度の鑄造技術などが開発されました。生産拡張のため19世紀にはタワー・ヒルに、1970年代にはロンドンを離れ現在の拠点であるウェールズ・ラントリサントに移転します。現在では世界有数の造幣局として年間約50億枚のコインを鑄造しています。

■カナダ王室造幣局

カナダ王室造幣局(The Royal Canadian Mint)は、1908年に英国王立造幣局のオタワ支局として設立され、カナダで流通する全ての貨幣の鑄造および管理を担う営利目的の公社です。ユーコンおよびニューコロンビア州におけるゴールドラッシュとともに精錬所を設立するなど、1世紀の間に世界有数の生産量と品位を誇る流通貨幣や収集用コイン、地金などの製造業者に成長しました。2007年にはギネス世界記録(当時)に登録された重さ100kg、純度99.999%の世界最大の金貨を製造し注目を集めました。

■フランス国立造幣局(モネ・ド・パリ)

フランス国立造幣局(Monnaie de Paris)は、シャルル2世により864年に設立された世界最古の造幣局で、現在に至るまで稼働し続けている最古の企業でもあります。フランスの貨幣鑄造の歴史は、貨幣関係事業を統合したシャルルマーニュ大帝の時代の9世紀にさかのぼります。18世紀に建設されたパリの造幣局には、美術館が併設。全て職人の手作りによるメダル、記念コイン、勲章、各種装身具などの製作を行っており、その芸術性や独創性、デザイン性が高く評価されています。2019年には「葛飾北斎」の名画「神奈川沖浪裏」をモチーフにしたコインを製作し、日本でも高い人気を得ました。

■シンガポール造幣局

シンガポール造幣局(The Singapore Mint)は、同国独立後の貨幣流通を担うため1968年に設立。1970年代以降はブータンやマカオといった海外の硬貨鑄造の委託も受けており、1980年代に政府関連企業となりました。造幣局としては世界的にも数少ない熟練した職人チームを維持しており、手作業ならではの繊細な表現とともに、2000年代以降はホログラム、潜像加工、ウルトラハイレリーフ仕上げなどさまざまな革新的技術を融合したユニークなコインを鑄造し、国際的な賞も数多く受賞しています。

■オーストラリア・パース造幣局

パース造幣局(The Perth Mint)は、英国王立造幣局の3番目の支局として1899年に設立され、オーストラリア最古の歴史を誇ります。西オーストラリアで発掘される金の精錬や英国政府の植民地に向けた金貨の鑄造を1931年の金本位体制の廃止まで担い、その後1970年に西オーストラリア州政府の所有となりました。同国最大の貴金属企業でもあり、とりわけ金や銀の地金、希少価値の高い収集用コインなどにおいて高い実績を有します。その輸出規模は価値にして年間約180億ドル、100カ国以上にのぼります。